



さようなら中小屋中学校！最後の卒業式、閉校記念式典（3月13日・同校）

ホームページアドレス <http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

歩むスタートの年

新年度の事業や予算が審議される第1回定例町議会が3月7日から開かれ、一般会計と6特別会計、水道事業会計の予算が決まりました。

議会で泉亭町長と高橋教育長が説明した予算編成内容を掲載しながら、皆さんに今年度1年間の予算のあらましをお知らせします。

4つの柱



最小で最大の効果

平成17年度は、再構築プランのスタートの年であることを考慮した予算編成としました。いままでの慣習や制度的な枠組みにとらわれず、再構築プランにある4つの柱を基に、最小の費用で最大の住民満足度が得られるよう、「量から質への変換」と「住民と行政との支え合いの仕組みづくり」を念頭に編成しています。

また、厳しい財政事情の中、平成20年までの第4次総合計画をより一層効率的に推進するため、美しいまちづくりなどの9つの重点施策を展開するよう編成しました。

1 住民参加の推進

これからの政策決定には、計画づくりの早い段階から住民参加を可能にするため、様々な情報を住民と行政とが共有し、同じ認識の下でまちづくりに取り組む必要があります。

○協働の体制づくり 各種審議会委員などの公募制の導入・女性委員の拡大・景観委員会の拡充・保健福祉などでの北海道医療大学との連携強化の取り組み。

○協働事業の推進 駅前レンガ倉庫を活用した文化活動の拠点づくりの計画策定・NPOなどとの連携による協働事業の推進・ごみの減量化・閉じこもり予防事業・配食サービスのボランティアなど様々な計画やそれらの実施段階において協働という視点を取り入れる。

2 事務事業の見直し

現在、北海道や道内市町村が共同で開発を進めている電子申請システムを平成18年度からの開始へ向けて取り組みを進めるとともに、予算編成システムなどを導入して業務の効率化を図ります。

また、民間能力を活用し、養護老人ホームの管理業務、元町浄水場の管理運営業務などの民間委託を実施します。

さらに、各種委員会委員の報酬や各種団体負担金の見直しを進めるとともに、季節保育所の廃止、へき地保育所の常設保育所への統合などを行っていきます。

3 行政組織の見直し

新たな行政課題や多様化する住民ニーズに即応した施策を総合的、機能的に展開できる体制とするため、計画的に行政組織の統合、再編などを進めます。

また、定員管理適正化計画の策定を行い、平成21年度までに新規採用職員を抑制し、少人数でも効果的に業務を執行できるように、職員の能力向

上を目的とした意識改革を進めます。

さらに、期末手当で町長が60%、助役と教育長が30%（約500万円）の削減、職員（約400万円）の削減をすすめるとともに、管理職手当を削減（約900万円）し、人件費の抑制を進めます。

4 財政基盤の健全化

健全な財政運営と持続可能な財政基盤の確立を目的として、歳入の確保と公平性の原則を着実に推し進めるため、滞納整理の強化を初めとする町税などの徴収体制の充実を図ります。

納税課の設置

専任体制を整え、滞納者に関する情報収集や納税相談を基に個々に応じた徴収の仕方、滞納整理などを行う。

また、適正な受益者負担のための各種使用料などの見直しを行います。

さらに、財政硬直化の要因の一つである地方債の償還経費は、長期借入金金の抑制などに努めていきます。

支え合い共に

平成17年度
事業と予算



9つの重点施策

が利用しやすいバス路線網や運行ダイヤを目指すため、その調査、検討を進めます。

■情報通信基盤の整備

情報課を設け、情報を管理する部署の充実を図り、電子申請を初めとする各種行政サービスをネットワーク化するための電子申請開発事業への参画、情報化の進展に伴うセキュリティ対策としてのOA入室入退管理システムの導入を進めます。

■子育て支援の推進

安心して子どもを生み育てられる環境づくりとして、子育て支援センターの住民参加型の運営方法の検討、子育てサポートシステムでは育児の相互援助システムづくりの検討をします。

保育所の統合、再編や保育所施設の老朽化による建替え計画を進めます。

■少子高齢化に対応した健康づくりの推進

各種の福祉計画をまとめる地域福祉計画の策定、国の介護保険制度の見直しに併せ町の実態に合った介護保険事業計画の策定、健康づくり計画

に沿った健康づくりを進めます。

■農業生産組織及び農産物加工・開発への支援

町の基幹産業である農業の将来を見据えた様々な課題に対応するため、地域営農組織への支援や農産物の加工・開発の支援を進めます。

■文化創造と

情報発信拠点の創出

駅前レンガ倉庫を活用し、文化活動の活性化を押し進めるとともに、これらの情報を発信する拠点づくりの検討を進めます。

■北海道医療大学との連携と商店街の活性化

北海道医療大学との連携をより強化し、大学生の居住を

促す事業のほか、商工会とともに、学生ニーズを踏まえた商店街づくりに努めます。

また、大学生が町内に居住しやすい環境をつくるため、転入、転出時の手続きや町内で生活する上での相談など、大学の学生窓口と連携したサポート体制の検討を進めます。

■都市計画事業の推進

道路、公園などの公共施設整備と宅地の利用増進を図るための幸町土地区画整理事業、本町市街地の骨格路線を整備するための中央通と北栄通の道路改良工事を引き続き進めます。

また、当別ダム、道民の森への連絡道路として重要な町道本通線の道路改築事業も引き続き進めます。

■老舗は常に新しい

当別町は、札幌圏にある優位性を活かし、J・R、大学などと総合的に連携して、魅力があり町民の満足度が向上する新しい行財政システムを確立することが緊急課題です。

135年の歴史を大切にしながら、町が発展する可能性を生かした新しいまちづくりに取り組めます。

このため、平成17年度は「老舗は、常に新しい」を基本理念に、再構築プランを進める環境を整えるための予算を厳しい財政状況の中で編成しましたので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

美しいまちづくり
皆さんが誇りを持って快適に暮らせる美しいまちづくりを進めるための景観形成基本計画の策定、魅力ある美しい景観の創出に向けた様々な推進事業、多様化するライフスタイルに対応するための優良田園住宅の促進などを進め、これらの取り組みを北海道の移住促進事業と連携させ、町の人口増に活かします。

■バス交通体系の確立

町、大学、病院、各事業所が一体となりバス事業の効率的な一元化を図り、より住民

ふれあい・かかわりあいの教育

学校教育「確かな学力の向上」と「豊かな心の育成」

- ◆ **学習面**
教科ボランティアの導入など個に応じた指導やIT化の推進、教職員研修の充実、外部講師の導入などに取り組みます。
- ◆ **道徳性の育成**
地域人材の活用やボランティア活動などを重視し、さらに、読書環境や教育相談の充実に努めるとともに、特色ある学校づくりを働きかけます。
- ◆ **障害児教育**
介助員を配置するとともに、特別支援教育の実現に向けた校内体制づくりを進めます。
- ◆ **食育**
食育の重要性から、学校栄養職員と学校との連携による
- ◆ **食育推進のための計画づくりや指導の充実に努めます。**
- ◆ **幼稚園教育**
園児数の減少に対応した効果的な保育活動に向け、平成18年度統合に向けた検討を始めます。
- ◆ **児童生徒の安全対策**
学校、地域の実態に即した安全マニュアルの見直し・定着、防犯訓練の実施、必要な防犯施設について検討を進めます。
- ◆ **学校統廃合**
児童・生徒の減少している学校について、未来を力強く生きる力量を育む観点から、多学級校への統合を働きかけます。



社会教育「町民の自主性・主体性」と町民と「協働」の取り組み

- ◆ **家庭教育**
親子、親同士の結びつきが希薄化してきていることから子育てを考える集いや、絵本に親しむ講演会、ブックスタートなどを引き続き実施します。
- ◆ **青少年教育**
地域や異世代間の交流を通じて社会観や価値観を身に付けることが大切なことから、子ども居場所づくりの事業を引き続き実施します。ジュニアリーダーの育成、子ども育成会などの支援に努めます。
- ◆ **青少年の健全育成**
少年指導センターと学校の連携を重視し、さらに効果的な巡視体制の確立や地域ぐるみの取り組みのための関係機関・団体との連携に努めます。
- ◆ **成人教育**
学びたいことを自ら企画運営し、広く町民への参加を呼びかける「町民自主企画講座」や北海道医療大学との連携による「当別学講座」の充実を図っていきます。
- ◆ **高齢者を対象とした「ことぶき大学」の開校を引き続き実施します。**
- ◆ **芸術文化活動**
潤いのある創造性豊かなまちづくりを推進するため、文化協会や文化団体のネットワークづくりと発表機会の充実に工夫を図ります。
- ◆ **読書環境の改善**
公民館図書室に図書司書を配置するなど図書室機能の充実を図りながら、引き続き学校への出前図書、巡回図書を実施します。
- ◆ **スポーツの振興**
高齢社会を迎え、健康で生き生きと暮らせる社会を実現するためには、スポーツに親しむ機会の提供や環境づくりが大切となることから、スポーツ活動の拠点である総合体育館に新たにスポーツトレーナーを配置し、効率的なトレーニング指導を行うとともに、ボランティア指導者による「子どもスポーツ体験教室」などを引き続き実施します。



数字で見る平成17年度予算

5年連続緊縮予算！

総額 172億4,426万8千円

(実質164億6,242万1千円 16年度比：1.4%減)

(単位：千円・%)

会計区分	17年度予算額	16年度予算額	比較	増減率
一般会計	9,969,751	9,866,941	102,810	1.0
	実質金額9,187,904	9,591,441	403,537	4.2
国民健康保険特別会計	1,853,918	1,818,900	35,018	1.9
老人保健特別会計	2,404,212	2,263,723	140,489	6.2
介護保険特別会計	1,053,279	938,193	115,086	12.3
介護サービス事業特別会計	47,077	55,967	8,890	15.9
下水道事業特別会計	1,122,448	1,102,461	19,987	1.8
農業集落排水事業特別会計	87,364	88,198	834	0.9
水道事業会計	706,219	842,527	136,308	16.2
合計	17,244,268	16,976,910	267,358	1.6
	実質金額16,462,421	16,701,410	▲238,989	▲1.4

借換債とは
町の借金である「町債」を繰り上げて償還し、低金利で再び借り直すこと。

※表内下段は、「借換債など」を除いた実質の金額と伸び率。

一般会計総額 99億6,975万1千円

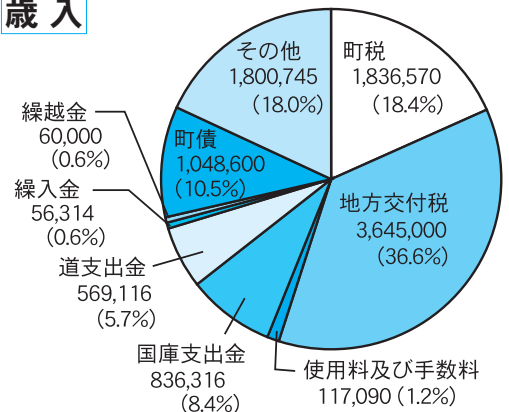
(実質91億8,790万4千円 16年度比：4.2%減)

平成17年の主な事業 新規、拡大・見直し

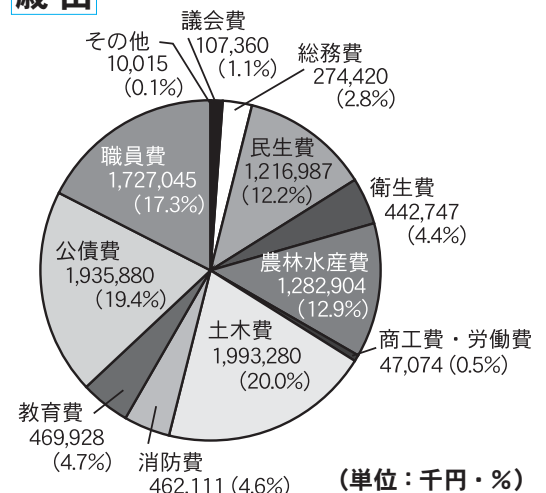
(増減については平成16年度と比較)

総務費 2,975万4千円減 (▲9.8%) 総額2億7,442万円		
(仮称) 当別町バス交通体系調査事業	599万3千円	新規
(仮称) 当別駅前賑わい創出検討事業	141万3千円	新規
(仮称) 当別移住プロモーション事業	160万円	新規
当別町美しいまちづくり推進事業	579万5千円	458万6千円増
町内会運営費補助事業	1,049万6千円	137万円減
民生費 1,944万9千円減 (▲1.6%) 総額12億1,698万7千円		
地域福祉計画策定事業	231万8千円	新規
精神障害者ホームヘルプサービス	231万6千円	新規
養護老人ホーム管理業務委託事業	9,585万7千円	3,659万9千円増
知的障害者施設訓練等支援事業	1億8,156万3千円	971万8千円増
児童居宅介護支援事業	655万9千円	361万2千円増
老人医療費給付事業	1,265万円	635万3千円減
保育所運営事業(常設・へき地・季節)	9,881万7千円	1,055万6千円減
衛生費 422万5千円増 (1.0%) 総額4億4,274万7千円		
ごみ減量化アクションプラン関係事業	50万4千円	新規
容器包装類再資源化事業	1,092万5千円	368万5千円減
商工費・労働費 1,491万6千円減 (▲24.1%) 総額4,707万4千円		
当別町商工会補助事業	1,762万1千円	193万6千円減
観光協会補助事業	112万8千円	92万6千円減
農林水産費 5億5,783万9千円増 (76.9%) 総額12億8,290万4千円		
土地改良事業	10億6,991万円	5億4,755万1千円増
国営造成施設管理体制改革促進事業	2,351万6千円	616万3千円減
土木費 8,401万7千円減 (▲4.0%) 総額19億9,328万円		
本通線など町道整備事業	2億9,887万9千円	1億1,894万7千円減
中央通など街路整備事業	4億6,620万円	2億1,506万9千円増
雪対策事業(除雪委託)	1億9,440万円	2,160万円減
教育費 2,196万6千円減 (▲4.5%) 総額4億6,992万8千円		
障害児指導(特殊学級)の介助支援事業	335万1千円	新規
学校給食運営事業	6,227万2千円	76万9千円減
主な社会教育施設運営事業	3,946万1千円	105万3千円減
職員費 1億2,479万2千円 (▲6.7%) 総額17億2,704万5千円		
町長、助役、教育長期末勤勉手当削減	約500万円削減	
職員期末勤勉手当削減	約4,400万円削減	

歳入



歳出



(単位：千円・%)



思い出は永遠に

—— 中小屋中学校が57年の歴史に幕

例年がない大雪に見舞われた今年の冬……。3月13日、まだ春遠く雪に覆われた中小屋中学校の最後の卒業式が開かれ、2人が卒業しました。

57年間に807人の卒業生を送り出した中小屋中学校で行われた閉校記念式典には、地域の方や同窓生、元学校長や教諭など約200人が集まり、閉校を惜しみました。廊下には、荒川校長が撮り貯め「中小屋ハートフルストーリー」と題した地域の風景や楽しい生徒たちの写真が飾られ、参列者は多くの思い出を思い浮かべ、懐かしんでいました。





最後の卒業生



この学校で学んだことを誇りにこれからも歩んでいきたい



中小屋中学校長 荒川顕けんさん

昨秋、閉校が決まり、短い期間にやらなければならないことがたくさんありました。記念式典には、昨年から総合的な学習で取り組んだ「琴」の演奏を発表しようと練習に力を入れました。

生徒7人の今日の演奏は、とても立派でした。

子供たちは、音楽を通して人とかがわることの大切さや、少人数でもやればできる力を身に付けてくれたと思います。新たな学校へ羽ばたく生徒たちへ“頑張れ”とエールを送ります。



古谷陽一やういちさん

私が通っていた頃は、まだ小・中併置校でしたが、27人位生徒がいました。野球部でみんなと練習に励み、町内大会に出たことが思い出されます。

だんだん人数が減って、部活などいろんな活動ができなくなって閉校になってしまうので残念ですが、仕方ありません。

この学校が、地域みんなの為になる施設として、利用できればと思っています。



堂前かなえかなえさん

平成13年度に中学校を卒業したとき生徒数は10人でした。生徒会長を務め、学校祭などみんなをまとめて自分たちの手で頑張ったことを思い出します。

全学年が仲良く、充実した中学校生活でした。昨年、閉校になると聞いて寂しい気持ちでいっぱいでした。

この学校が地域で使えるようになったら、みんなと遊びに来たいと思います。

町長の日記

17年3月19日(土)

今日は太美駅のプラットホームが改修されてとても乗降しやすくなったので、西当別連絡協議会が主催した“JRに感謝する”と云う珍しい催しがあった。

JRから今や道内の経済界の実力者である坂本会長さん等幹部の方が10人ほど来られて、西当別コミセンで地域の人も300人余り参加されて大変盛大だった。

札沼線は昭和9年に全面開通したが、昔の鹿野恵造村長の回顧録を読むと明治44年から鉄道誘致運動が盛んになったと書かれているが、当時、空知の石炭を小樽港へ運ぶ為と云う目的を札幌へつなぐ為に随分苦労もあったようだ。

私はお礼の挨拶で「当別 - 札幌間を20分くらいで走るようにしてほしい」と話しました。実は札幌 - 当別間は札幌 - 千歳間や札幌 - 岩見沢間よりはるかに近いのにJRでは所用時間が逆に長い為に札幌市民に当別は遠いところと錯覚されているところがある。

今は道内で「学園都市線」が通勤通学列車として一番利用されている訳だし、せめて一日に何本か快速列車を走らせていただきたいと思う。

今の技術では当別 - 札幌間20分は決して夢ではないと思う。

そうなれば車よりJRの方が利用されるようになり札幌市内でも地下鉄の利用が増え交通渋滞が緩和され、札幌周辺の町として大都市に対する道義にかなない温暖化問題の解決にもつながる。

鹿野村長も天国できれいな空気を吸えて喜ばれると思う。

テーブルを廻った時、ほとんどの人が「快速があったらいいね」と期待していた。

お祝に頂いたらしい“ロイズのシャンパン”が当別産の“いも団子汁”や“当別家族”の料理をひき立ててくれて楽しいパーティだった。

当別町長衆亭俊孝

行財政システム再構築プラン



住民説明会を開催しました

2月下旬に3会場で行った住民説明会を開催し、268人の町民に参加いただきました。説明会では、パブリックコメントに寄せられた意見に対する町の考え方や再構築プラン(原案)の内容などの説明をして、質問や意見を伺いました。今月は、説明会でいただいた意見の一部と町の考え方をお知らせします。

情報共有

Q 行政改革を成功させるためには、行政と住民が情報を共有する必要がありますが、町のホームページに、財政の詳しい情報を掲載すべき。

A 財政状況については、予算、決算の情報や町の財政事情を広報誌でお知らせしてきました。今後も、現在の厳しい財政状況を皆さんにわかりやすく理解していただけるようホームページや広報誌などで積極的に情報を掲載することを検討中です。

除排雪のあり方

Q 除排雪については、ある程度、町民の負担も必要だと思つう。

A 町道や身近な生活道路については、住民と行政の役割分担を明確に

し、協働して維持管理できるように平成17年度に検討します。

医療体制

Q 移住促進を考へる場合、病気になるかどうか心配がある。

A 町は今までも、JRの時間短縮や、老朽駅舎、プラットホーム整備などの要望活動を続けてきましたが、地域の要望の一つであった、石狩太美駅のプラットホーム段差解消と、上屋の整備が昨年12月に実現しました。

A 万が一、病院の休診時間に体調が悪くなった時などのために、医療機関の協力をいただき、夜間や土日・祝祭日には、内科系の救急当番医制度があります。その日の当番医は、町の広報誌やホームページや新聞に掲載されています。また、広域的な救急医療体制については、町のホームページから情報を得ることが出来ますので、参考にしてください。

人口増加対策

Q 人口を増やすためには、札幌までの通勤時間が短縮されるよう、JRに働きかける必要がある。

A 町は今までも、JRの時間短縮や、老朽駅舎、プラットホーム整備などの要望活動を続けてきましたが、地域の要望の一つであった、石狩太美駅のプラットホーム段差解消と、上屋の整備が昨年12月に実現しました。

今後は、学園都市線の高速化・時間短縮を実現させるために、地域住民や沿線市町村と協力し、要望を続けていきます。

企画部企画課

(☎ 23 3042)

広報誌で紹介した写真または
データを希望者に提供します。

●お申し込み●

秘書課広報広聴係 ☎ 23-3069 へ



J R 石狩太美駅整備に感謝

(3月19日)

J R 石狩太美駅を利用する町民の長年の要望であった「ホームと車両の段差解消」と「プラットホームの上屋設置」が昨年12月に完成し、J Rを利用する町民有志を代表して、西当別連絡協議会（高島勇一会長）の主催で感謝の集いが西当別コミュニティセンターで開催されました。

当日は、J R 北海道の坂本真一会長を初めたくさんの来賓をお招きし、約350人の町民が完成をお祝いしました。

同協議会の高島会長は「今回の改修に感謝しています。J Rは地域の活性化の大きな力になっています」とJRに感謝を述べ、J R 北海道の坂本会長は「当別町にはユニークなまちづくりを期待しています。私も学園都市線を守っていかねばならない」と挨拶されました。

また、会場では、当別の特産品を味わいながら札沼線の歴史と整備経過をスクリーンで上映するなどしました。



ヤンキー先生のドラマをロケ撮影

(3月5日)

3月に北星学園余市高校を退職した、ヤンキー先生こと義家弘介さんのドラマロケが弁華別小学校で行われました。TBSスペシャルドラマ「ヤンキー母校に帰るSP不良少年の夢」(3月27日放映)で、義家さんの高校生時代を撮影。義家さん扮する人気グループ「嵐」の桜井翔さんが、校舎の2階から中庭の雪山に飛び込むシーンなどの撮影で、高校生役に町民もエキストラ出演しました。ロケを支援する当別夢倶楽部21フィルムコミッション（高松正人会長）のメンバーは、雪を降らせたり、雪山を作ったりと現場の準備を行うなど、汗を流していました。



女性パワー全開「女性のつどい」

(3月1日)

町女性団体連絡協議会（村上スミ子会長）が、町内女性の交流を目的とした「当別町女性のつどい」を白樺コミュニティセンターで開き、商工会女性部、J A女性部、町内会婦人部など所属団体や一般女性など約200人が集まりました。

HBCアナウンサー松永俊之さんが「人生、晴れたり曇ったり」と題し、ご自身の体験を交えた講演を行った後、所属6団体の活動報告が行われました。地域活動や交流事業の発表、活動内容を寸劇で紹介するなど女性ならではのアイデアを凝らした発表に会場も和やかな雰囲気になっていました。



お手柄中学生 4人を表彰

(3月10日)

3月1日、スウェーデン橋から誤って川に転落した小学生を救助した、西当別中学校の後藤賢太君、川本拳君、西野裕大君、小田真君(共に3年生)の4人に西当中の全校生徒が見守るなか、当別消防署長より感謝状が手渡されました。

4人は、下校途中に偶然騒ぎを聞き、橋の脇の急斜面を駆け下りて、深さ50~60cmの川の中からずぶぬれになっていた小学生を素早く救助しました。



町内のボランティア実践者や関心のある人が集う「春のボランティアの集い」がゆとろで開かれ、130人が交流しました。町福祉協議会が「ボランティアの輪を広げ、そっと寄り添えるまち当別」を目指そうと

毎年行っているもので、旭川市民ボランティア会議の代表・藤井英規さんの講演や、「ボランティアとまちづくり」をテーマにしたフォーラムに参加者は熱心に聞き入っていました。

また、お昼にはボランティア連絡協議会の手作り料理で交流を和やかに深めていました。



春のボランティアの集い

(3月5日)



農業から地域の活性化を

(3月18日)



農業改良普及センター(西原良一所長)が主催する石狩北部「担い手フォーラム」が白樺コミュニティーセンターで開かれ町内外から約70人が参加しました。

北海道農業士協会長の津島朗さんが、地元音更町で展開する農業経営スタイルや地域との関わり方などを講演しました。また、北海道指導農業士に認定されている佐藤彰さん(金沢)と重原昌章さん(弁華別)がパネルディスカッションのパネリストとして参加し、農業経営や地域活性化の思いを述べました。

地域と企業に心血 永年勤続者表彰

(3月2日)



町商工会(河村佳男会長)は、永年勤続優良従業員表彰を商工会館で行い、満5年から40年の勤続者68人に表彰状と記念品を渡しました。

河村会長は「活力ある企業と地域の発展にこれまで以上の活躍を期待します」と式辞を述べました。

また、受賞者を代表して角光茂さん(北成建設勤続35年)が「この感激を忘れず、商工業の発展と明るい町づくりに努力します」と述べ、感謝とこれからの決意を新たにしていました。

青少年善行賞・教育奨励賞 スポーツ賞

7団体・41個人が受賞

平成16年に活躍した青少年やスポーツ分野で顕著な成績を取めた団体や個人に贈る「当別町青少年善行賞・教育奨励賞・スポーツ賞授与式」が「ゆとろ」で行われました。来賓や父母らが見守るなか、受賞者は泉亭町長から賞状や盾、メダルが渡され功績がたたえられました。

(受賞者の敬称略・学年は16年度)

ふれあい かかわりあい

当別町教育委員会
☎ 23-2689

青少年善行賞

4団体・1個人

団体

東裏小学校児童会	当別消防署に数年間、児童が栽培したジャンボカボチャに「火の用心」の文字を書き寄贈したことが評価されました。
西当別中学校生徒会ボランティア委員会	全校クリーン作戦の中心となって町内ごみ拾いを行ったり、緑の羽根募金活動・中越地震義援金募金活動等を行ったことが評価されました。
当別中学校野球部及び部活動有志	お年寄りへの敬愛の気持ちを込め、末広団地に住む1人暮らし高齢者宅の除雪ボランティアを行ったことが評価されました。
緑町子ども会	町内ごみ拾いや廃品回収を行ったことや当別町子ども会育成連合会主催の大会全てに出場し、地域全体に活力と団結力を与えたことが評価されました。

●各地域や学校で、他の模範となる活動をした団体や個人●



個人

新宅ありす (西当別中3年生)	ミュージカルサークルの代表として、平和や反戦、世界の子どもの労働問題をミュージカルとして広く地域に発表。また、発表会では手作りのドライフラワーリースを販売し、その収益を戦争被災地に送金したことが評価されました。
--------------------	---

教育奨励賞

文化部門 2団体・15個人
スポーツ部門 1団体・22個人

文化部門・団体

第36回全国学生書道展覧会 (学校の部) 団体優勝など	当別小学校
第19回全道リコーダーコンテスト (合奏の部・重奏の部) 金賞	弁華別中学校音楽部

文化部門・個人

第35回全道書道コンクール記念賞 第36回全国学生書道展覧会特別賞	桑原 啓 (当別小5年生)
第35回全道書道コンクール記念賞	桑原 梓 (当別小2年生) 高田温実 (同5年生) 太田朱音 (同6年生)
第36回全国学生書道展覧会四席	小玉野明 (当別小3年生)
特別賞	高田佳奈 (当別小2年生) 松橋 唯 (同4年生) 小森史織 (同6年生) 坂井亜実 (西当別小2年生) 林紗綾香 (西当別中3年生)

●文化、スポーツなど全道・全国規模で優秀な成績を残した小中学校と児童生徒●



第19回全道リコーダーコンテスト(合奏の部・重奏の部) 金賞	飯田汐李 (弁華別中3年生)
”(合奏の部) 金賞	石山奈津美、小久江里美、 望月風花 (弁華別中2年生) 望月詩穂 (同1年生)



スポーツ部門・団体

第32回北海道中学校
ソフトボール大会第3位

西当別中学校
ソフトボール部

スポーツ部門・個人

第32回北海道中学校
ソフトボール大会第3位

吉野 萌、浅野瑛絵
加藤由華、磯石裕子
曾川育美
(西当別中3年生)
山下麻美、吉田 萌
出村吏世、上野由貴
玉木芽里、高橋博子
城野果南子、波多野礼佳
蝦名ひとみ、小川早苗
佐藤美弥、平田美波
(同2年生)

第22回北海道小学生陸上競技大会(5
年女子走高跳)優勝

望月彩花
(弁華別小5年生)

第42回全北海道空手道選抜選手権大
会(小学5年生女子組手の部)第3位

小山友花里
(西当別小5年生)

全日本空手道選手権大会(中学1年生
組手の部)優勝

渡部比夏瑠
(当別中1年生)

第1回アトミックカップF I Sアル
ペンスキーチルドレン大会国内決勝
トライアル出場予選会(小学男子B
組)優勝

蝦名 陸
(西当別小6年生)

第25回少林寺拳法北海道大会兼全国
大会北海道予選会(規定組演武小学
生4級の部)優良賞3位

窪田 忠
(蕨袋小学校6年生)

スポーツ賞

3個人

●スポーツ分野の全道・全国大会で優秀な成績を収めた個人。●



個人

秩父宮賜杯第57回全国高等学校陸上競技対校
選手権大会(110mハードル)出場など

寺尾瑞基
(札幌国際情報高校)

第58回全国高等学校ボクシング選手権大会
(フェザー級)出場など

今井耕平
(当別高校)

第59回国民体育大会秋季大会(弓道)出場

三沢有未
(北海道医療大学)

「食」シリーズ 「バイキング給食、毎日食べたいな」

2月・3月に、バイキング給食を小・中学校3校で行い、3月で閉校となった中小屋中学校でも実施しました。

給食センターでは、生徒たちに基準量と比較しながらバランスよく食べてもらうため、当日の献立を栄養別にグループ分けし、カロリー計算もできる献立表を事前に配り、給食を食べる前には、同センターの学校栄養職員が食事のバランスや食事のマナーなどを指導しました。

献立表とにらめっこしながら、バランスよい食事ができたバイキング給食は生徒たちにも評判が良かったようです。



「チビッコお楽しみ交流会」 親子で楽しいひととき！

(3月11日・ゆとろ)



町教委と子育てサークルが共催し、幼児の子育てサポート事業として開いた「チビッコお楽しみ交流会」に、孫に付き添うおばあちゃんの姿も見受けられました。この日参加したチビッコ96人は、楽しい音楽に合わせた体操や人形劇に、親子で楽しいひとときを過ごしました。

また、地域子育て支援センターや保健師から子育てのお話を聞いたり、各子育てサークルの紹介・入会募集など、参加の親に役立つ貴重な場となりました。

5年に1度の一大イベント

今年は何勢調査の年です。

国内の人口・世帯を一斉に調査把握することで、人口の推移などが分かる基礎資料となり、未来の羅針盤として私たちの生活に生かされます。

住民登録とは関係なく、10月1日現在、ふだん住んでいる場所で、調査票に記入していただきます。

国勢調査は日本に住んでいるすべての人が対象となり、回答が義務づけられています。

調査員が皆さんのお宅へ、調査票の配布・受け取りに伺います。

国勢調査員をはじめとする調査関係者には、守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されます。



制度

中小企業特別融資制度を利用しませんか

町では、町内中小企業者への利点が多い融資制度を設けています。この制度を利用すると、たとえば、事業資金200万円の均等3年返済した場合は、利息額約65,000円のうち約60,000円が戻ってきます。

融資の種類

(利率は平成17年4月1日現在)

資金名	貸付限度額	貸付期間	貸付利率	返済方法
事業資金	200万円以内	3年以内	2.175%以内	連帯保証人1人以上 元金均等割賦返済
運転資金	500万円以内	5年以内	2.375%以内	取扱金融機関の定める 方法とする。
設備資金	700万円以内	7年以内	2.575%以内	

「中小企業特別融資制度」を上手に利用しましょう。

対象

町内で1年以上継続して事業を営む、信用保証協会の保証付の方。

申込先 北海道銀行、北洋銀行、札幌信用金庫の各当別支店。

問合せ 経済部商工課 (☎23-3129) 町商工会 (☎23-2447) または、申込先の金融機関へ。

募集

特殊学級介助員非常勤職員を募集します

勤務先 当別小学校ほか

募集人員 1名

勤務期間 5月1日～平成18年3月31日

勤務時間 原則として月～金曜の8時15分～15時の内、週29時間以内。

勤務内容 特殊学級に在籍する

児童生徒の介助。

報酬 月額139,500円

応募資格 満50歳未満(4月1日現在)の介護福祉士またはホームヘルパー2級以上の資格を有し、普通自動車運転免許所持者。

応募書類 履歴書・資格証明書・本人の住民票・運転免許証

応募締切 4月21日(木)

申込・詳細 町教委管理課学校教育係 (☎23-2689)

手続き

労働保険年度更新の手続きはお早めに

今年も労働保険(労災保険・雇用保険)の確定保険料(平成16年度)概算保険料(平成17年度)の申告、納付の時期となりました。

事業主の皆さんは期間内に手続きを行うようお願いいたします。

手続き期限 5月20日(金)

申告・納付先 最寄の金融機関・郵便局・各労働基準監督署・北海道労働局

問合せ 札幌東労働基準監督署 (☎011-894-2819)

助成

中小企業大学校旭川校の短期研修受講料を全額助成

町では、研修機会を増やし多くの有能な人材を育成することを目的として町内に事業所がある事業主と従業員を対象に「当別町商工業者人材育成助成事業」を行っています。

4月1日からは、研修参加者の受講料全額を助成しますので、この機会に是非受講してください。

助成対象とする研修 中小企業大学校旭川校の短期研修コース

対象者

町内に事業所を有する商工業の事業主と従業員で、町商工会が推薦する者。(先着順に受付)

助成額 受講料の全額

申込方法 町商工会へ電話で申し込みください。

問合せ 経済部商工課 (☎23-3129) または町商工会 (☎23-2447) へ。

申請

「老人保健法」などの高額療養費受給者は申請を

老人保健法受給者や町老（マル老）・道老受給者が、1カ月に自己負担限度額を超えて医療費を支払った場合には、申請により超えた額を受給することができます。

自己負担限度額 表のとおり

老人保健法受給者

対象者

- ①平成14年9月30日現在、すでに70歳以上であった方。
- ②65歳以上で、一定の障がいがあり申請により認定された方。（身

体障害者手帳1～3級及び4級の一部、療育手帳（重度）の交付を受けている方など。）

申請方法 受給対象者へ郵送の「申請書」に必要事項を記載の上、窓口持参してください。（領収書は添付不要。）

町老（マル老）・道老受給者

申請に必要なもの

領収書・印鑑・金融機関（郵便局を除く）の通帳・健康保険証・医療受給者証

申請・問合せ 福祉課福祉係（「ゆとろ」内・☎23-3019）

区分	自己負担限度額（月額）		食事の標準負担額（1日）
	外来（個人）	入院または世帯合算	
一定以上所得者	40,200円	72,300円 + 1%（注1） 40,200円（注2）	780円
一般	12,000円	40,200円	
低所得者	8,000円	I	15,000円 300円
		II	24,600円 過去1年の入院期間 90日以下 650円 過去1年の入院期間 91日以上 500円

（注1）「+ 1%」は、361,500円を超えた医療費の1%を示す。
（注2）過去1年間で限度額に達した回数が4回目以降になる場合に適用。

健康

春です。一緒に始めませんか 健康運動相談

冬は「外を歩いて転んだら困る」「雪かきでけっこう動く」からと、健康づくりの運動を後回しにしていたあなたに、健康運動指導士が運動プログラムを作り、3カ月間、「ゆとろ」で運動を継続できます。また、保健師・栄養士も健康づくりのお手伝いをします。

対象 生活習慣病予防やダイエットのために運動を始めたい方。

開催日

4月22日（金）

5月27日（金）

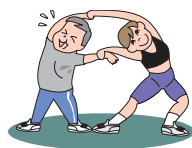
6月24日（金）

時間 9時30分～11時30分
（個別に指定時間を連絡します。）

会場 ゆとろ（西町）

内容 運動プログラム作成とアドバイス、体重・体脂肪・血圧測定、柔軟性・持久力などの体力測定

申込・詳細 各開催日の1週間前までに、福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）へ。



募集

リハビリ教室の参加者を募集します

町では、体の機能回復や日常生活の拡大を目的とした「リハビリ教室」を実施しています。

対象 脳卒中後遺症や神経難病などにより退院後も継続して機能訓練が必要な方（ただし、介護保険の「通所サービス」を受けている方は対象外。）

開催日 4月20日（水）

※毎月1回の開催日は町広報健康カレンダー欄に掲載。

時間 10時30分～14時30分

会場 ゆとろ（西町）

内容

集団～体操・レクリエーション・創作活動などを通したリハビリ、言語聴覚士によることばの教室、様々なサービスの活用法や生活の中での工夫点の情報交換。

個別～作業療法士・言語聴覚士からの家庭で行えるリハビリ方法、生活の仕方をアドバイス。

料金 無料

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）

◆◆◆ボランティア募集◆◆◆

リハビリ教室をお手伝いくださるボランティアを募集します。

時間 9時30分～15時

内容 参加者との交流、体操・レクリエーション時などの補助。

※日程、会場、申込は上記リハビリ教室と同じです。ご都合に合わせて参加できる方も結構です。



国保

お忘れなく 国保の各種届出



詳細 住民生活課国保年金係
(☎23 - 2467)

届出	内 容	届出期限	手続きに必要なもの
取得	<ul style="list-style-type: none"> ■退職など職場の健康保険の資格が無くなったとき。 ■健康保険任意継続の期限が来たとき。 	14日以内	社会保険離脱証明書（用紙は職場で交付。無い場合は国保年金係へ。） 国民健康保険被保険者証（家族に国保加入者がいる場合）
	保険証が無い状態で医療を受けると全額自己負担になります。国保税は、国民健康保険に加入した月から負担になります。届出が遅れると1期に納める金額が高額となります。このようなときは納税方法をご相談ください。		
喪失	就職など職場の健康保険に加入したときなど。 本来は使用することが出来ない国保を使って病院にかかった場合、保険給付分（病院代の7割）を国保へ返納することになります。	14日以内	新たに交付された健康保険被保険者証 国民健康保険被保険者証
変更	住所・氏名・世帯主が変更になったとき。		国民健康保険被保険者証
退職制度	厚生年金や共済年金を受給の方で、加入期間が20年以上（または40歳以降に10年以上）ある場合は、退職者医療制度適用の国民健康保険被保険者証への切替が必要。	すみやかに	年金証書 国民健康保険被保険者証

取得や喪失の届出期限に遅れた場合には、本人に不利益になることがありますので、お気を付けください。

消 防

危険物取扱者試験と 防火対象物点検資格者講習

①第1回危険物取扱者試験

■試験種目 甲種、乙種（第1～第6類）及び丙種

試験日 5月22日（日）

試験地 札幌市ほか

受付期間 4月6日（水）～14日（木）

②防火対象物点検資格者講習

（4～6月期）

講習日 6月14日（火）～17日（金）の4日間

講習地 札幌市

受付期間

4月25日（月）～5月13日（金）

点検報告を必要とする防火対象物不特定多数の人が出入りする建物で収容人員300人以上など。

受講資格 防火管理者実務経験が3年以上などの要件がありますので、問い合わせください。

詳細 当別消防署消防課指導係
(☎23 - 2537)

年 金

17年度の国民年金保険料は 月額13,580円

定額で月額13,580円、付加保険料は400円です。また、納付書で1年分・半年分（4月～9月分）をまとめて5月2日までに納めると表のとおり割引となります。

役場窓口年金相談日

4月13日・27日の水曜日

役場1階国保年金係へお気軽にお越しください。

年金保険相談所の開設

主催 札幌北社会保険事務所

日時 4月20日（水）

10時～15時

場所 商工会館（錦町）

◇国民年金保険料◇

	期間	月々納付	まとめて前納	割引額
定額保険料	1年分	162,960円	160,070円	2,890円
	半年分	81,480円	80,820円	660円
定額保険料+付加保険料	1年分	167,760円	164,780円	2,980円
	半年分	83,880円	83,200円	680円

◇特別障害給付金制度◇

次の に該当して任意加入していなかった期間に生じた傷病が現在、障害基礎年金の1・2級に相当する障がいにある方が対象です。

平成3年3月以前、学生で国民年金に任意加入していなかった方。

昭和61年3月以前、配偶者が厚生年金・共済組合等加入者であり、本人が国民年金に任意加入していなかった方。

給付金は、請求のあった月の翌月分から支給され、請求が遅れた場合、遡って支給されません。必要書類が揃わない場合でも、まずは4月中旬に国保年金係へ請求書を提出してください。

問合せ 札幌北社会保険事務所（ ☎011 - 717 - 4111 ）または北海道社会保険事務局（ ☎011 - 204 - 7008 ）へ。



僕 ケンタ君

皆さんの健康づくりを応援します

2010年までの町の健康づくり計画を推進するために、キャラクターの募集をしたところ、13点の応募をいただきました。その中から、遠藤房枝さん(太美スターライト)の作品が採用となりました。

今後、計画書やパンフレットなどに登場し、健康づくりを応援しますので、みなさんよろしくをお願いします。



◆キャラクターの意味◆

名前は、健康の「健」からケンタ君。

ケンタ君のポケットから元気な「栄養のハート」「運動のハート」「歯の健康のハート」「心の健康のハート」がいっぱい出てきます。それが合わさると幸せな四つ葉のクローバーになります。

問合せ 福祉課保健サービス係(「ゆとろ」内) ☎23-2346)

高齢者学園受講者募集

ことぶき大学

60歳を過ぎたら、お友達と参加しませんか。



○楽しく学ぶ○

- ・体験活動ができる「趣味の講座」
- ・健康・生きがいづくりの「講演会」と「社会参加」
- ・見聞を広げる「視察研修」など。

期間 5月～平成18年3月

日時 毎月第2金曜 10時～12時

場所 公民館

(内容により日程・場所の変更あり)

○定員 40名

○受講料 無料(保険料、材料費、旅費は個人負担)

○申込期限 4月28日(木)

○詳細・申込 公民館(☎23-2511)



春の火災予防運動

4月20日(水)～4月30日(土)

期間中各種行事で防火を呼びかけ、一人暮らしの高齢者のお宅や防火対象物の査察、火災予防の巡回広報など実施します。

第7回とうべつ消防まつり

当中吹奏楽部の防火ミニコンサート・防火緑日など各種体験コーナーが待ってるよ!

とき 4月29日(金・祝)
10時～12時

ところ 当別消防署庁舎前(錦町)

❖雨天時も実施します❖

問合せ 当別消防署(☎23-2537)

自衛官募集のお知らせ

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
幹部候補生	一般 ・ 技術	4月4日(月) ～ 5月13日(金)	1次試験 5月21日(土)～22日(日) ▷22日は飛行要員のみ
	歯科 ・ 薬剤科		2次試験 6月21日(火)～23日(木) 3次試験 7月23日(土)～8月4日(木) ▷3次は飛行要員のみ
2等陸・海・空士 (男子)	18歳以上27歳未満の者	通年受付	受付時に通知
詳細・問合せ 江別募集事務所・☎011-383-8955			

楽しい子育てを応援！

地域子育て支援センター

電話
相談

お子さんのことで気になること、お困りのこと、どんなことでも一人で悩まず気軽にご相談ください。

▼相談日時 月～金曜

8時45分～17時15分（祝日除く）

西保育所とふとみ保育所でお受けします。

子育て
サロン

今年も開催します。
お楽しみに！

あそびの
ひろば

たくさんのお友だちと一緒に遊べる！
お母さんの友達の輪も広がります。

開催期間 5～7月＝第1期
9～11月＝第2期

サークル
支援

おもちゃや紙芝居の
貸し出しをします。

相談・詳細は
こちらどうぞ



西保育所（末広・☎23-3744）
ふとみ保育所（太美町・☎26-2353）

募集

第1期 あそびのひろば

参加対象 受付時点で満1歳6カ月から就学前の子と母親。

会場と日程

本町地区「ゆとろ」ほか

火曜コース

5月10日～7月26日（毎週火曜）

金曜コース

5月13日～7月29日（毎週金曜）

西部地区ふとみ保育所

水曜コース

5月11日～7月27日（毎週水曜）

木曜コース

5月12日～7月28日（毎週木曜）

各コース全12回開催。

時間 10時～11時30分

参加費（保険料）子供一人につき500円

申込期間 4月18日（月）～22日（金）（受付は10時～15時）

詳細・申込 ◆本町地区＝西保育所 ◆西部地区＝ふとみ保育所

建築

我が家は大丈夫？
住宅の耐震相談をお受けします

近年、国内外を問わず頻発している大規模な地震。我が家は大丈夫？と皆さんがご心配されていることと思います。

倒壊の危険はあるのか？どこに相談すれば良いのか？など、ご心配のある方のご相談に建築住宅係が応じます。家の図面などをお持ちの方は、持参してください。

図面をお持ちでない方もお気軽にご相談にお越しください。

▼担当 建設課建築住宅係（☎23-3147）



納税

納税はお済みですか
町税などの各種税金

平成16年度課税の町道民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税は5月31日までに全て納めてください。完納できない場合には、給料・財産・預貯金等の差押さえなどの滞納処分の対象となってしまう可能性があります。完納が難しい場合には、納税課納税係までお気軽にご相談ください。また、毎月第2・第4木曜日に開設している夜間相談窓口もご利用ください。

問合せ 納税課納税係（☎23-2330）

お知らせ

役場の部・課名どが
変更になりました

役場の組織変更に伴い部や課名が変わりました。

新設 総務部納税課

変更 企画部まちづくり推進課

同部美しいまちづくり課

企画部秘書課

企画部情報課
福祉部子育て担当

福祉部子育て推進課

建設部・水道部

建設部区画整理担当

建設水道部
都市計画課



花づくりの達人

フラワーマスター




お花のことが聞きたいときは・・・

町は「美しく住み良いまち」を目指し、花を活かしたまちづくりを進めています。

「とうべつフラワーマスター連絡会」に所属する7名のフラワーマスターが、花に関する相談に応じたり、助言・指導を行っています。

個人や団体で花に関するアドバイスを受けたい場合は事務局へご連絡ください。

 **とうべつフラワーマスター連絡会**
 事務局 美しいまちづくり課
 (☎23 - 3073/FAX25 - 5555)

フラワーマスターってどんな人?




花の育成管理に関する知識や技術・花の扱い方に関する知識を持つ人で、北海道知事の認定を受けています。

現在「花壇づくりのデザイン・花種選定のアドバイス・花に関する研修会や講習会」などの講師として各地域で活躍中です。

フラワーマスター





代表 森本 茂さん
(獅子内)

 土づくり
 苗づくり
 エクステリア





高木 馥美さん
(弥生)

 土の性質
 差し木・差し芽






菅 純子さん
(六軒町)

 ハーブ
 ハンギング






長尾正枝さん
(弥生)

 ハンギング
 花の特性
 花の種子





荒戸 恵子さん
(樺戸町)

 苗のつくり方
 整形花壇
 種のまき方





佐藤宏司さん
(太美町)

 パラづくり
 宿根草



佐藤さよ子さん
(太美町)

 パラづくり
 宿根草

ただいま 交通傷害保険 受付中!

町民または町内に通勤・通学している方が、年間360円(1口)の掛け金で、交通事故や道路を歩行中の事故などに最高100万円の保険金が支払われます。保険期間は平成18年3月31日までです。

☑受付場所は2カ所のみ

「ゆとろ」では受け付けません

住民生活課住民生活係(役場)
太美出張所(太美郵便局内)

☑保険料は現金でお願いします

保険料は、窓口受付時に、現金でお支払い願います。

▼詳細 住民生活課住民生活係
(☎23 - 3209)

献血にご協力を

- ◆16歳から69歳までの健康な方。
- ◆65歳以上の方は、献血を経験(60~64歳)している方。

4月18日(月)

◆ゆとろ(西町)

9時30分~

10時30分

◆役場(白樺町)

11時~12時と

13時~14時30分

◆JA北いしかり西当別支所

(太美町)

15時~16時30分



スウェーデン交流センター情報

甲斐裕士ガラス作品展

❖期間 4月29日

(金・祝)~

6月5日(日)

(火曜休館:ただし

5月3日は開館)

❖時間 10時~16時30分

❖会場 スウェーデン交流センター
交流センター内ガラス工房で活動するガラス作家、甲斐裕士氏の作品展です。シンプルで実用的な器を得意とし、最近では人気のビアグラス「ビョルク」が「札幌スタイル」にも認証されました。

❖問合せ 同交流センター

☎26-2360/FAX26-2992/

E-mail: swedcent@aioros.ocn.ne.jp



春の全国交通安全運動が始まります



春は、新入学（園）児の季節です。

ドライバーの皆さんに3つのお願い。

- ①歩行者に対する警戒心を一層高め、横断歩行者の有無をしっかりと確認しましょう。
- ②安全確認をしないままに通行してくる歩行者や自転車が少なくないことを、十分に認識しましょう。
- ③右折時は、横断歩道やその周辺にもしっかり目配りしましょう。

春の交通安全運動スローガン

「ストップ・ザ・交通事故死」

～めざせワーストワン返上～

運動期間 4月6日(水)～15日(金)
運動の目的 道民一人ひとりに交通安全意識を高め、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけることで、交通事故防止の徹底を図る。

重点運動

- ①二輪車の安全利用の推進
- ②速度上昇期に伴うスピードの出し過ぎ防止
- ③シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

デイ・ライト(昼間点灯)運動実施中

当別町の交通事故発生状況 (概数)
(2月対比)

	平成17年	平成16年	増減数
発生件数	14	14	0
死者数	0	0	0
傷者数	20	27	7



氏名	父	母	住所
勝部 大夢	哲志	美由紀	奈々野
伊東 佑太	一志	真奈美	樺戸町
檜山 大輝	雅一	由美	藤
佐々木 進一	祐輔	泉	春日町
神野 真穂	貴士	真由美	獅子内
中江 詩乃	俊介	広美	元町
入谷 仁太	修司	恵子	下川町
泉 俊輔	吉満	恵子	当別太
佐々木 海人	光直	仁美	太美町
木屋路 尚永	尚史	祐美	末広

おめでとうございます

2月14日～3月13日分

出生とおくやみ

おくやみ申し上げます

☆当別町社会福祉協議会へ
村木千枝子さん(北栄町)から10万円
藤田敏雄さん(六軒町)から5万円
弥生ボランティア虹の会(代表高木典子さん)から1万円
玄米酵素グループ(株)コーケンからタオル4,000枚
上田恵美子さん(樺戸町)から雑巾30枚

ご寄付
ありがとうございます

氏名	年齢	世帯主	住所
大和 光	79	本人	栄町
藤田 敏雄	84	本人	六軒町
田中 千佐	74	本人	白樺町
今井 千枝	89	本人	対雁
三浦 政春	75	本人	春日町

百年会館前の公衆トイレを廃止します
百年会館前の公衆トイレは、平成16年度をもって廃止となり、4月1日から使用ができなくなりますのでご了承ください。

西当別小が車椅子1台を寄付
西当別小学校から特養老人ホーム長寿園に「介護式軽量タイプ車椅子」1台が寄贈されました。
同校では以前からリングブルを集めて車椅子と交換する取り組みをリサイクル会社と行っており、今回で2台目の寄贈となりました。



新刊図書案内

公民館図書室

	タイトル	著者
一般書	図解 地震のことがわかる本	饒村 曜
	宮廷女官チャングムの誓い(上)	ユ・ミンジュ
	対岸の彼女	角田 光代
	御宿かわせみ傑作集 祝言	平岩 弓枝
	ニッポン泥棒	大沢 在昌
	終戦のローレライ	福井 晴敏
	ハウルの動く城	宮崎 駿
児童書	ふたごのき	谷川 俊太郎
	ブローチ	渡辺 良重
	あずきがゆばあさんとトラ	チョ・ホサン
	くまのコールテンくん	ドン・フリーマン
	かいけつゾロリたべられちゃった	原 ゆたか

西当別コミセン図書室

	タイトル	著者
一般書	我慢力を育てるしつけの知恵	多湖 輝
	グランド フィナーレ	阿部 和重
	日暮らし	宮部 みゆき
	九月が永遠に続けば	沼田まほかる
	北の動物園	倉本 聡
	あわりの雪	ユーベル・マンガレリ
	たのきゅう	川端 誠
児童書	くるくんとふしぎなともだち	なかや みわ
	リサかぜをひく	アン・グッドマン
	まぼろしのデレン	関屋 敏隆
	ハードル2	青木 和雄
	バッテリー(6)	あさのあつこ





法律相談

日時 5月11日(通常開催と異なります。)
13時～16時
申込・詳細 事前に福祉課福祉係(☎23-3019)へ。

心配ごと相談

毎月第2・4木曜日に実施。
日時 4月14日、4月28日
13時～16時
申込・詳細 町社会福祉協議会(☎22-2301)へ。

◎会場 ともに「ゆとろ」(西町)

■人の動き 3月1日現在
()は前月との比較

人口	20,091 人 (-12人)
世帯	7,736 世帯 (-8世帯)
男	9,840 人 (-4人)
女	10,251 人 (-8人)

税に関するポスターで 石狩支庁長賞を受賞



「第19回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集」で、弁華別中の小久江里美さん(受賞時2年生)が石狩支庁長賞を受賞しました。作品は、全道4,762点から1次審査を通過した195点の中から選考されました。小久江さんは「ポスターは宇宙空間をイメージしました。昨年より上手に描けたと思います」と受賞を喜んでいました。

囲碁を始めてみませんか ◎初心者囲碁教室に参加を◎

日本棋院当別支部(戸来武支部長・53名)では、「平成17年度初心者囲碁教室」を開きます。

囲碁を始めてみたい方・興味のある方は、気軽に参加してください。

対象 初心者・初級者(子供から大人まで)

日時 4月9日～6月25日までの毎週土曜日 13時～16時

場所 白樺コミセン(白樺町)

受講料 無料

申込・詳細 佐々木(☎090-1522-3001)

<http://www12.plala.or.jp/yukun514/>

ボールエクササイズ 会員募集



今や話題・注目!大きなボールで健康づくりしませんか。

見学・体験いつでも大歓迎です。

□活動日 毎週木曜日

19時～20時30分

□場所 総合体育館格技室

□問合せ 木村(☎090-9526-3289)

第4回保険セミナー

◇家計のダイエット◇

無駄な生命保険、わかりにくい生命保険をやさしく解説し、ご自身の保険の見直しなどに役立つセミナーです。

終了後、個別証券分析も行いますので、ご希望の方は保険証券をご持参ください。ご夫婦で是非ご参加ください。

□日時 4月16日(土)13時～15時

□会場 西当別コミセン(太美町)

□定員 10名(要予約)参加無料

□申込み 北海道生命保険相談会 小池(☎011-641-0213)

商店街活性化センター 「あえ～る」情報

◆アースデイとうべつ写真展

◇期間 4月20日(水)～24日(日)

「あえ～る」を利用しませんか?

1F みんなの広場

個人・団体・企業など各種イベントのPRに!!

2F 展示場

絵画・書道・手芸・陶芸・写真など作品展の開催に最適。

時間は10時～17時(月曜は休館、祝日の場合は翌日/最終日は15時まで)。
申込・詳細は、「あえ～る」(☎25-5116)または、商工会(☎23-2447)へ。

子育てママの情報誌 一緒に作りませんか

子育て応援の情報誌「ママCOMとうべつ」を町内のママ達でつくることになりました。親子でワイワイ集いながら夏ごろの創刊を目指します。一緒にやってみようママを募集中!

□問合せ・連絡先

母乳育児ひろばママほっ♡と.com
新宅(☎/FAX26-4704)

※子育てが一段落した方で、編集会議中に子供と遊んでくださる方探しています。連絡お待ちしております。

4
月健康
カレンダー

Calendar

申込・詳細 福祉課保健サービス係（「ゆとろ」内・☎23-2346）

ゆとろ～総合保健福祉センター（西町） 西コミ～西当別コミュニティセンター（太美町）

	事業名	対象者・内容	会場	日にち	時間
お母さんと乳幼児	マタニティスクール	妊婦同士の交流を中心に元気に妊娠、出産期を過ごしましょう。	ゆとろ	5月11日水	13:00～ 15:00
	4カ月・10カ月児健診	該当の日程を対象者へ通知します。 お子さんの成長を確認し、子育てや離乳食など、日ごろの悩みを解消しましょう。 ▽4カ月児にBCG予防接種をします。		4日月 5月9日月	受付13:00～ 14:00
	1歳8カ月・3歳児健診		西コミ	15日金	受付13:00～ 14:00
	ポリオ予防接種	生後3～90カ月のお子さんへ「小児マヒ」の予防接種をします。（予約不要）	ゆとろ	12日火 21日木	13:00～ 13:30
			西コミ	14日木 19日火	
歯科検診・フッ素塗布	1歳から就学前までの幼児。 虫歯のチェックと、フッ素の塗布。	ゆとろ	26日火	9:30～ 14:00	
成人向け	女性がん検診	バスで札幌の検診センターへ行き、胃・肺・大腸・子宮・乳のがん検診を受診。	西コミ	4日月 5日火 5月10日火	集合時間 7:55～ 8:10
	健康相談	保健師や栄養士が健康についての相談に応じます。		20日水	9:30～ 11:30
	健康運動相談（指導日）	健康運動指導士が個別の運動方法をアドバイスします。	ゆとろ	22日金	9:30～ 11:30
	健康運動相談	必要な方はゆとろの運動器具を使った運動実践ができます。（29日分は28日に振替え）		毎週月・金曜	
	リハビリ教室	脳卒中、神経難病などにより、体や言葉に不自由さがある方。		20日水	10:30～ 14:30
	友遊会	外に出る機会の少ない高齢の方。		19日木	10:00～ 12:00
	かすみ草の集い	外に出る機会の少ない高齢の方。	西コミ	12日火	10:30～ 14:30
	断酒会	お酒で悩んでいる方とその家族。 （断酒会の申込み・詳細） 日中は江別保健所☎011-383-2111 夜間は工藤☎22-2510	ゆとろ	4日月 18日月	18:30～ 20:30

◻個別予防接種◻

- ◆DPT（ジフテリア・百日せき・破傷風）⇨生後3カ月～90カ月未満
- ◆DT（ジフテリア・破傷風⇨11歳・12歳
- ◆麻しん⇨生後12カ月～90カ月未満 ◆風しん⇨生後12カ月～90カ月未満
- ◇医療機関欄の 印は個別予防接種を行っています。
- ◇さわぎき医院、とうべつ内科クリニックは予約が必要です。





基本健康診査を受けていますか？

健康のために日常どんな工夫をしていますか？

私たちが元気で、歳を重ねるためには、1年に1回は基本健康診査を受けることが大切です。

「仕事が忙しい」「元気だから」「病気が見つかったら困る」など理由を付けずに自分の体の状態を客観的に知ることが安心につながります。

当別町基本健康診査の結果から

北海道が、基本健康診査の結果をまとめた下表から当別町の状況を説明しましょう。

平成15年度の当別町の受診率は男性が22.2%（道内順位147）女性が39.0%（道内順位91）で男性の受診率が低い状況です。

健診結果では高血圧は軽症の方が多く重症の方は少ない傾向です。

高コレステロールの方は全道平均とほぼ同じです。

糖尿病の血糖検査では低い状況ですが、HbA1c（2〜3カ月間の平均的な血糖値の状況がわかる検査）では男性も女性もやや高い状況です。

その他、喫煙者は男性がやや多く女性は少ないのですが20本以上吸っている人が大変多い状況です。基本健康診査からみただ別町はほぼよい健康状態と思われず。

特に健診結果から健康運動相談や栄養診断など保健事業を利用している方は、改善が著しく、日常生活を見直し、工夫することで無理なく元気に過ごされています。

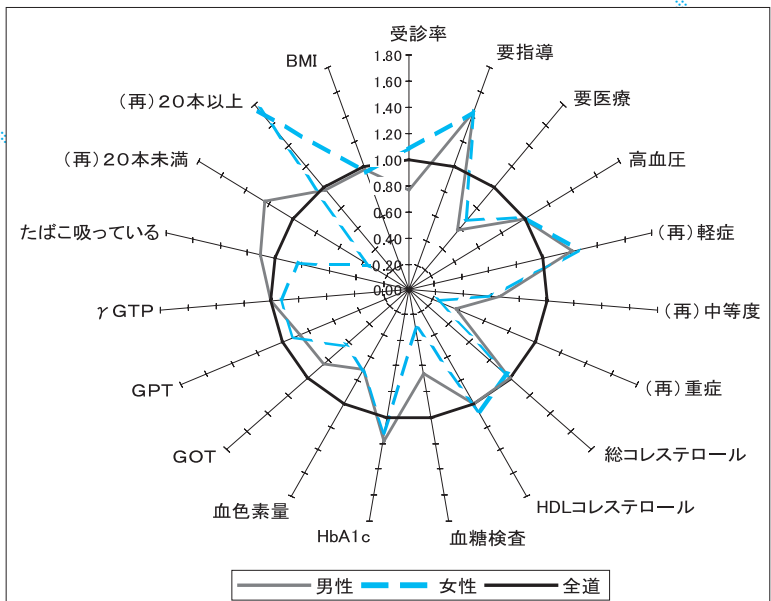
あなたもそんな一人になりませんか。

これから健康管理

基本健康診査の受け方
町内医療機関で実施する個別の基本健康診査
8月と2月（8日間）に実施する集団の巡回ドック
対象は40歳以上の方職場や医療機関で定期的に検査している方は除かれます（詳しくは「ゆるる発信！健康だより」（町内回覧中）でご確認ください。

申込・詳細 福祉課保健サービス係
「ゆるる」内 23 2346

保健師 高取真由美



Hospital 内科系急病当番医

平日 ⇒ 19時～21時
土曜日 ⇒ 14時～17時
日曜・祝日 ⇒ 9時～12時・14時～17時

4月（内科系急病当番医）

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
スウェーデン	太美	とうべつ内	さわざき	堀江	近藤	堀江
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
勤医協	堀江	堀江	太美	とうべつ内	さわざき	堀江
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
近藤	堀江	勤医協	堀江	堀江	スウェーデン	とうべつ内
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
さわざき	堀江	近藤	堀江	勤医協	堀江	堀江
29日	30日					
スウェーデン	太美					

5月（内科系急病当番医）

1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
堀江	堀江	近藤	さわざき	勤医協	堀江	堀江
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
堀江	太美	とうべつ内	堀江	太美	堀江	勤医協

医療機関

- 勤医協当別診療所 ☎23-3010 末広
- 近藤医院 ☎23-2021 園生
- さわざき医院 ☎25-2055 北栄町 要予約
- とうべつ内科クリニック ☎22-1313 西町 要予約
- 太美中央医院 ☎26-2332 太美南
- スウェーデン通り 内科循環器科クリニック ☎25-3151 太美町
- 堀江病院 ☎22-3111 樺戸町

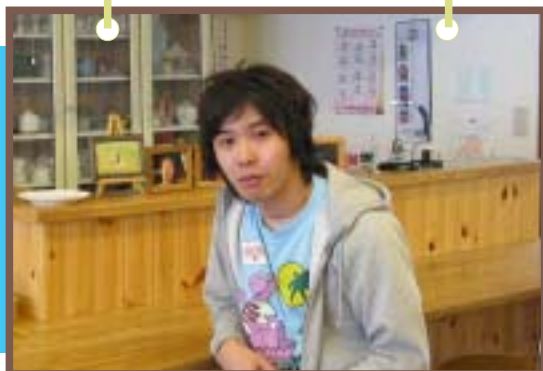


いま 現在を生きる

NPO法人でより充実した活動を

大原裕介さん (弥生)

学生ボランティアの活動拠点、「青少年活動センターゆうゆう24」がNPO法人として活動を発進します。同センター開設時から携わっている大原裕介さんが代表を務め、北海道医療大学を卒業した学生が当別町民の一員となり充実した地域福祉を目指した活動を行っていきます。



NPO法人になると聞きました・・・

4月1日からNPO法人として活動します。

平成14年に学生ボランティアの活動拠点として「青少年活動センターゆうゆう24」が発足してから3年が経過し、NPO法人の認定を受けてより充実した活動がスタートします。今までと大きく変わるの、5人の専従スタッフが常駐することです。ここでやっている店舗や喫茶の運営、各サービスにいつでもお答えしていくことが可能になりました。これまでは学生が行っていたので、施設を留守にしていたり、電話に対応できないなど町の方に印象が良くない部分がありましたが、NPOになったことをきっかけに「ゆうゆう24」の活動を広く町民の方にも知って欲しいですね。

今までと何が変わるのでしょうか・・・

「ゆうゆう24」は、大学と地域連携の拠点、学生ボランティアの地域福祉の実践の場となるのがそもそもの目的でした。これからは、「地域福祉をどう創っていくか」「健常者と障がい者の壁を無くすノーマライゼーションを実現する障がい福祉の整備体制づくり」「お年寄りやお子さんを預かるシステムづくり」など、広がりのある活動を展開できます。

障がいを持ったお子さんを一時的に預かるレスパイトサービスは、放課後の居場所作りとして3年前から始めましたが、現在そのニーズは町外近郊にまで広がっています。私たちがやる一番の強みは、知識と経験をもつ450名の学生ボランティアが、1対1でお子さんに関われるところです。これからは「外出をいっしょにする」「ナイトケア(共に宿泊をする)」など24時間のサービスをしていくことができるようになります。

また、ここで学童保育を始めたいと考えています。障がいのあるお子さんに限らず、一般のお子さんもお預かりします。これは障がいのある子との関わり、地域ボランティアとの関わりの中で、子供たちに社会性や自立性を育てていけると 생각합니다。私自身、障がいを持っている方に人生観を変えてもらいました。学生のほとんどがそんな経験をして、生きる大きな力になっています。学校だけでは学べない、やさしさや思いやりを学べる場として提供したいですね。

地域との関わりは・・・

ゆうゆう開所当時は、地域の方とどう関わっていくか模索して悩むことも多くありました。でも、学生から町の中に飛び込んでいくと、思いのほか町の方が歓迎してくれました。様々なところで応援、協力してくれました。それがなかったら、今NPOになることもなかったかもしれません。日々、この施設に足を運んでくれる方もいて、うれしい限りです。

また、町内には素晴らしい活動をしている団体もたくさんあります。ネットワークをつなげて、障がいのある人が安心して暮らせる町になるきっかけを作っていきたいと思っています。

福祉に携わっている学生は、当別を「第二の故郷」と思っています。地域の方の暖かさに触れることが、大規模な町から来ている学生にはとても新鮮です。町民の方も是非私たちの活動に参加してほしいですね。困った時には、ここのシステムを利用し、またボランティアとして参加する、支えられ支え合える共生社会になることをみんなで考えていきたいと思っています。

